

重点施策 12 文化振興事業の充実

【施策方針】

優れた文化芸術事業や郷土の先駆者を顕彰する企画展・歴史探検学習等を実施し、市民が文化活動・郷土史学習に参加し体験できる場を提供することにより、郷土愛を育み、文化活動の支援と地域文化を支える人材の育成に主眼を置き、幅広い分野での芸術、文化活動の市民への普及を図る。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

□文化芸術事業の振興

- ① 八幡浜市美術展の開催
- ② 県展八幡浜移動展の開催
- ③ 八幡浜郷土企画展 ～朝夕生誕 150 年・前田山生誕 100 年記念～
郷土が生んだ力士たち 大関朝夕・横綱前田山展

□文化会館事業

- ④ 文化会館管理・運営
- ⑤ 自主文化事業の開催
- ⑥ 企画プロデュース事業への助成
- ⑦ カルチャー教室・ロビー展の開催

□市民会館事業

- ⑧ 市民会館の管理運営

(2) 施策・事業の実施状況

□文化・芸術事業の振興

① 八幡浜市美術展の開催

市民より作品を募集し、絵画（洋画、日本画、）版画、書道、写真、陶芸等の各分野から特に優秀な作品については市展優賞、市長賞、議長賞、教育長賞、文化協会賞、推奨等の表彰を行い、作品作成の励みとなるようにしている。観覧料は無料である。観覧者 1,463 人（八幡浜市美術展委託料）400 千円

② 県展八幡浜移動展の開催

県展出品者の中から、八幡浜市出身者の作品を中心にして、八幡浜市美術展と同じく、絵画（洋画、日本画）版画、書道、写真、陶芸等の作品を展示し、これも八幡浜市美術展と同じく無料で市民に鑑賞してもらっている。観覧者 792 人（県展八幡浜移動展委託料）233 千円

④ 八幡浜郷土企画展 ～朝夕生誕 150 年・前田山生誕 100 年記念～郷土が生んだ力士たち 大関朝夕・横綱前田山展

大相撲で活躍した当市出身の力士、大関朝夕が生誕 150 年、横綱前田山が生誕 100 年を迎える。大関初代朝夕太郎は、風格・実力ともにそなえた堅実な取り口で明治か

ら大正にかけて活躍し、高砂部屋の出世名跡の礎を築いた。戦後初の横綱となった前田山は、張り手を交えた突っ張りを得意とし、闘志にあふれ角界の風雲児とも呼ばれた。両力士の記念すべき年に、改めて彼らの業績を周知発信するとともに、当地域に受け継がれる民俗・伝統行事としての「相撲」を改めて見つめ、私たちの身近に深く根付いている相撲について再認識と関心の喚起を図る。入場者数 1,201 人

(八幡浜郷土企画展費用 1,300 千円)

□文化会館事業

⑦ 文化会館管理・運営

市民の日常の学習や文化活動の場として自己を高め、芸術文化の向上と地域文化を育み創造を図るとともに、生涯学習の拠点として自主文化事業の他、貸館業務や企画プロデュース事業、カルチャー教室、ロビー展などを展開した。

⑧ 自主文化事業の開催

市民の要望、ニーズに応じて歌謡曲から古典芸能といった幅広いジャンルから事業を選定、特に音楽ホールとしての機能を重視して整備した大ホール及び世界最高峰のピアノの配置を考慮し、クラシック系のコンサートも開催し、鑑賞型とともに創造型の文化事業を展開した。

⑨ 企画プロデュース事業への助成

市民が企画・立案し自主運営する文化事業（映画会・講演会・コンサート等）の支援を行った。

⑩ カルチャー教室・ロビー展の開催

カルチャー教室については、地域文化の創造に貢献できる人材を育成するために公民館の学習講座と整合を図り「夢づくり・夢学び」をキャッチフレーズに、3 講座をそれぞれ年間 10 回開講した。また、ロビー展では、作品発表の場として開放し「ミニ美術館」として活用し、地域の小さな文化を掘り起こし、広めるとともに、優れた作品や文化的資料を展示して鑑賞の場を提供した。

□市民会館事業

⑪ 市民会館の管理運営

市民会館の管理運営については、会館以来年数が経過し年々古くなっており、利用者は減少気味である。

【学識経験者意見】

- 地方に住んでいる私たちにとっては、なかなか本物の芸術に触れ合う機会が少ない。今後も機会をとらえて市民が本物の芸術作品を鑑賞できるような企画をお願いしたい。
- 八幡浜市郷土企画展「～朝夕生誕150年・前田山生誕100年記念～郷土が生んだ力士たち」では、前田山の存在は知っていたが、朝夕関が八幡浜市出身であることは初めて知った。
前田山の出身地である喜須来小学校では、前田山の相撲魂を後世に残していこうということで道徳教育の一環として、毎年「相撲大会」を実施しているそうで学校の取組に敬服している。八幡浜市が生んだ両力士の存在が忘れ去られることなく、当地域に受け継がれる民俗、

伝統行事としての「相撲」を改めて見直す絶好の機会が与えられたのではないかと思う。

- ゆめみかんのロビー展では、「ミニ美術館」としての機能が果たされており、市民の癒しの空間となっている。
- 八幡浜市文化会館(ゆめみかん)での文化事業では、クラシック系の演奏会が開催され、楽しみにしている一人であるが、事業によっては観客数が少ないときがあり、演奏者に申し訳なく思うことがある。観客動員数を増やすためにはどうすればいいのか、招聘する演奏者を含めチケット販売方法やPR方法についての課題があるように思う。

【自己評価】

- 今後も機会をとらえて市民が本物の芸術作品を鑑賞できるような企画展を実施していきたい。
- 八幡浜市郷土企画展「～朝夕生誕150年・前田山生誕100年記念～郷土が生んだ力士たち」では、八幡浜市が生んだ両力士の存在が忘れ去られることなく、当市の偉人として今後も顕彰を重ねていきたい。
- ゆめみかんのロビー展では、「ミニ美術館」として、今までの利用者以外に働きかけ、より一層充実させていきたい
- 八幡浜市文化会館(ゆめみかん)での文化事業では、クラシック系の演奏会を多く実施している。CATVのスポットCMやテレビCMを使用するなどしているが、なかなか集客に結び付いていない部分がある。今後は観客動員数を増やすため、企画するコンサート内容を含め検討していきたい。